

2017年8月5日

関係者 各位

超高齢社会における生活支援のための研究会（仮称）の開催のご案内

趣旨：超高齢社会の進行とともに、様々な課題に直面している。ICTやIoTの発展により、社会環境は大きく変わりつつある。医療分野では、遠隔診療、医療・保健・介護にまたがるデータ環境の整備、AIの活用が進められ、独居高齢者や地域に住む方でも効果的に治療（キュア）やケアが進められる準備が進められている。

介護分野ではロボットやセンサ技術の発展により見守り、介護技術の転換、歩行や移動支援、認知症ケア、排せつや食事などを含め個々の利用者に整合したケアが提供されることが期待されている。しかし、一例として介護ロボットが社会的インパクトを与えるといわれながら、実現にはハードルが高く、一部の限られた環境にとどまっている現状がある。

その問題の1つとして、開発にかかわる工学者と現場最前線の看護・介護者、家族に加え、対象者本人の想いや生きる希望を、関係者すべてがディスカッションし、協力して進める環境が得られないことが挙げられる。そこで、日本生活支援工学会の中に研究会を立ち上げ、幅広い視点から率直な意見交換から始めたい。最終的な目標として、具体的で現実的で夢のある日本の目指す姿、取り組みのための提言を行う。

開催の概要

第1回：2017年9月11日（月）18時～ サイボウズ株式会社 東京オフィス 会議室  
〒103-6028 東京都中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー 27階

参加人数：15名（事前申し込みが必要です。応募多数の場合には抽選といたします）

（抽選の場合には、結果を9月4日までにご連絡いたします）

申し込み先：[biodesignlab.osaka@gmail.com](mailto:biodesignlab.osaka@gmail.com)

大阪大学大学院 医学系研究科 バイオデザイン学共同研究講座 山下 和彦

参加費：日本生活支援工学会 正会員：無料、それ以外：2,000円（資料代：当日支払い）

プログラム（予定）：

「在宅における認知症支援のこれからと期待」

医療法人至高会 たかせクリニック 理事長 高瀬 義昌 先生

在宅医療・介護支援についてディスカッションと情報交換

本研究会は2～3か月に1度の頻度で開催したい。毎回、議事録を作成し、情報を共有する。

担当幹事：

大阪大学大学院 医学系研究科 バイオデザイン学共同研究講座

特任教授 山下和彦

e-mail: [k-yamashita@obd.med.osaka-u.ac.jp](mailto:k-yamashita@obd.med.osaka-u.ac.jp)

TEL: 06-6105-5249